

## 10月の行事予定

- 2日(金) 荘川さくら学園  
オープンスクール
- 4日(日) ラン&ウォーク
- 18日(日) 音と舞の祭典
- 24日(土) コスプレイベント
- 25日(日) 化石教室
- 31日(土) 文化展

## 荘川 IC 付近の花壇



## 高山市図書館荘川分館

【友と過ごした懐かしき思い出】  
「荘川地区の学校の移り変わりを  
紹介します。」  
【10月休館】  
5日(月) 13日(火) 19日(月)



## 【荘川さくら学園】ミズバショウの種採取 9/8



荘川さくら学園の児童・生徒 10 名が岐阜大学の安藤准教授ご指導のもと、ミズバショウの生育環境などを学んでいます。5月ごろ、ミズバショウの種を採取するために設置したネットを回収し、採取した種をもとに学習会を行いました。



## 【一色白山神社】納涼盆踊り大会 8/14

一色白山神社において民謡保存会による納涼盆踊り大会が開催されました。暑い中でも涼しいひと時を過ごすことができました。かやぶき屋根の拝殿が、色とりどりの光に照らされて幻想的な一夜となりました。



## 体操広場のご案内

ストレッチ・筋力アップの体操・バランスの運動・ゴムのバンドを使った体操などを行います。ご自身の体調に合わせ、無理なく楽しく体を動かしましょう。

日時: 10月13日(火) 10:00~11:00

場所: 荘川総合センター

対象: 65歳以上

問い合わせ先: 高山市福祉サービス公社

高齢者健康教室: 0577-57-5502

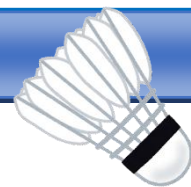
## 【荘川さくら学園】ひまわり

荘川さくら学園3・4年生の児童がひまわりを植えました。猛暑の中、水やり・草取り・虫対策頑張りましたね!



## 第32回高山市中高生バドミントン大会 9/13

女子1部シングルス 3位 三島 琴音 おめでとうございます!



【広報委員】丸山 浩一・坂上 剛・橋本 徳博・佐々木 羽玲

◇荘川町まちづくり協議会事務所 TEL & FAX 05769-8-6005 ✉showkawamck@hidatakayama.ne.jp

## 広報しょうかわ

NO.137 2026年9月号  
発行日: 令和8年9月24日



## 【荘川神社】荘川さくら学園での獅子舞



各地区で例祭が執り行われ、神社によっては前夜祭で村芝居や舞踊などが披露されました。荘川神社の村廻りが今年は平日の開催となったため、子どもたちがいる荘川さくら学園にも獅子が来ました。

迫力ある獅子舞を前に、保育園児の中には大泣きする子も。興奮して夜泣きしないことをお祈りしています。



令和8年9月1日現在  
( )内は前

## 人口と世帯

|     |          |     |          |
|-----|----------|-----|----------|
| 総人口 | 922 (-5) | 総世帯 | 404 (-2) |
| 男   | 443 (-1) | 女   | 479 (-4) |

## 各地区例祭・前夜祭 9/1～15



黒谷白山神社例祭前夜祭 9/1



一色白山神社例祭前夜祭 9/2



野々俣神社例祭 9/4



荘川神社例祭前夜祭 9/14

## 【つながる機会を大切に!】つながるんるん広場



8月19日の「つながるんるん広場」に荘川さくら学園後期過程の3名がボランティアとして参加してくれました。3名は集まった方々にお茶を出したり笑顔で接客してくれました。

祖父母世代の方が多いので、同じ地域の方でも知らなかったり、屋号で説明されてもどこの家かわからなかったりと、知るのに時間を要したものの、お喋りタイムはほのぼのした時間が流れました。

荘川は昔から「**地域の子は地域が育てる**」ということをもットーとしてきましたが、そのためには**地域の方と子ども達の接点が大事**です。つながる機会がないと、地域の方々を知らないまま学園を卒業してしまうこともあります。地域の方々の中には学校へ出向く機会のない方もいるので、荘川さくら学園のこども達は機会があれば地域の方々が集う場所へ大いに出かけて**地域の方々と接してほしい**と願います。

今回、勇気をもって参加してくれた3名のみなさんのお陰で地域の方々もパワーをもらいました。ありがとう。



## 荘川に来て感じたこと | 岩下 正枝

そばの可憐な花が畑一面を覆うようになり、祭りの季節がやってきました。あちこちから、「祭り」の話題を聞いたたびに、荘川町の皆さんが心待ちにしているのを感じます。

昨年初めて村芝居を観て以来、今年の演目をととても楽しみにしていました。江戸時代から続く歴史ある伝統芸能が、各地域の若者らにより継承されています。去年は、ただただ観劇して楽しむだけでしたが、芝居の裏側を教えてもらってからは、今年の芝居も待ち遠しくなってきました。

「あの役は、いつもよく見るあの人がだったんだ」とか、「物静かそうなあの人が、演技派役者みたいだったな」とか。また、神社の敷地にある建物が奉納芝居のための建物だったことも後から知りました。

この1年で知り得た様々な芝居の裏側から思うのは、荘川町は芸に優れた人が多いということです。ときに横笛を吹き、獅子を舞い、民謡を唄う人もいれば、太鼓の演奏をする人もいます。それをさらっとできてしまうところがすごいと思います。いつもは静かな芝居小屋が華やかな舞台に変身し、どのような演目に仕上がっていくのか……。9月。

黒谷白山神社、一色白山神社、そしてなんと夫が初舞台を踏む荘川神社と続きます。仕事を終え夜7時半から毎晩稽古が続き、遅くまで練習を重ねてきました。そして、ついに舞台の幕が上がると、若連中の面々が時代劇衣装に着替え、化粧をし、役者の顔になっています。

本人と役者を照らし合わせながら、ストーリーを追います。音響効果で誰もが分かりやすい舞台演出。不穏な音楽で登場した悪人達と、主人公の黒沼兵四郎とその子分の一辰が太刀回りを繰り広げ、歌舞伎のキメポーズも様になっています。

時代劇の舞台とはいえ、ストーリーは現代の世情を反映していて、情に伝わる演目でした。主人公に気持ちを寄せて、観客席から手を振りながら、彼の背中を見送りました。若連中らの熱量が町民の皆さんに伝わり、役者だけでなく観客も全員で舞台を作り上げているのが魅力なのかもしれません。村芝居の歴史が今年も繋がれました。また来年、芝居を楽しみに。

### 【後日談】

若連中らに交じり張り切って舞台セットの準備をした夫。ぎっくり腰に見舞われ「サロンパス」を貼り、栄養ドリンクを毎日飲みながら参加しておりました。ようやく緊張と寝不足の日々から解放されたようです。